



「だれにも負けない  
速い走りを目指したい」

千葉 <sup>まさたか</sup> 将貴さん  
(宍塚小6年 宍塚)

カートとは、パイプフレームにエンジン、タイヤ、シートなど最低限の部品を取り付けた自動車のことで、その中でもレーシングカートは、F1に代表されるレーシングドライバールの登竜門としても知られている。千葉さんは、中国のマカオで行われたアジア選手権ジュニア部門で平成19年、20年とそれぞれ参戦したクラスで優勝し、アジア第一位に輝いている。

カートを始めたのは、4歳のとき。近くのサーキットの無料体験に参加し、その虜<sup>もよお</sup>となった。「速さと、自分で車を動かせることが楽しくて仕方ありませんでした」。それから、毎日のようにサーキットに通い詰め、数か月後に初めて出場した大会で見事優勝を飾った。

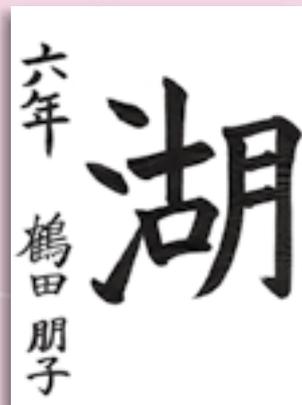
小学校に入学してから現在まで、シーズンの週末には各地のサーキットで開催されるシリーズを転戦する日々が続いている。カートの速度は、ときには時速120kmを超え、シートから投げ出される事故も経験した。「痛くて起き上がれないほどでしたが、カートをやめる気はまったくおきませんでした。きつと、速さを競い合う勝負の世界が好きなんです」と照れながら話してくれた。

現在の目標は、10月にイタリアで行われる世界選手権で優勝し、世界第1位になること。その後はF1ドライバーになり、シリーズチャンピオンになる大きな夢を持っている。千葉さんが世界のレースで優勝し、チエッカーフラッグが振られるシーンをぜひ見たい。



# 子ども

## 作品展



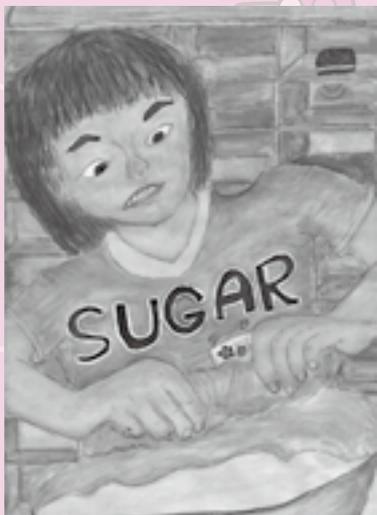
都和南小6年  
鶴田朋子さん



都和南小4年  
藤井一真さん



「ぞうきんしぼり  
(ギュー)」  
都和南小5年  
陳野なつさん



「がんばれ、  
はみがき」  
都和南小3年  
穂多田秀人さん

